

ロボット農機高度運用 フェア

一車両系ロボット農機を基軸とした
営農モデルの構築を目指して

2020年

11/19 木
13:30 → 15:35

オンライン
無料 WEBセミナー 配信

お問い合わせ

農研機構

048-654-7030

robotfair@ml.affrc.go.jp



参加申込フォーム

農業者の高齢化と不足が懸念されている中、担い手経営では、集積するほ場や農業資産を有効に活かした競争力の強い農業への転換が模索されています。日本農業の将来を見据えた取り組みの一環として、日本再興戦略2016(平成28年6月2日閣議決定(抜粋))で示された「ほ場間での移動を含む遠隔監視による無人自動走行システムを2020年までに実現」に向けて、SIP「スマートバイオ産業・農業基盤技術」において技術開発を進めています。本フェアは、こうした技術開発の到達状況と、今後の社会実装に向けて取り組むべき事項を明確にする目的で実施するものです。



SIPとは、内閣府 総合科学技術・イノベーション会議が司令塔機能を発揮して、府省の枠や旧来の分野を超えたマネジメントにより、科学技術イノベーション実現のために創設した国家プロジェクトです。



プログラム Program

13:30 - 13:40 はじめに

小林 憲明 氏 (SIP「スマートバイオ産業・農業基盤技術」プログラムディレクター)
キリンホールディングス株式会社 常務執行役員
菱沼 義久 氏 (農林水産省 農林水産技術会議事務局長)

13:40 - 13:45 ロボット農機高度運用の紹介 [動画]

13:45 - 14:30 講演

Lecture 1

13:45 - 14:00

「スマート農業の社会実装化、そして今後の取り組み方針」

原田 久富美 氏 (SIP「スマートバイオ産業・農業基盤技術」スマートフードチェーンコンソーシアム研究代表)
農研機構 本部 NARO開発戦略センター長

Lecture 2

14:00 - 14:15

「SIPにおけるロボット農機の高度運用に向けた技術開発」

八谷 満 氏 (農研機構 農業技術革新工学研究センター 高度作業支援システム研究領域長)

Lecture 3

14:15 - 14:30

「安全で効率的なロボット農機の運用のための農地整備に向けた取組」

村上 徹也 氏 (農林水産省 農村振興局農地資源課 課長補佐)

14:30 - 15:30

パネルディスカッション

「ロボット農機を基軸とした営農モデルの構築に向けて」

登壇者

飯田 聡 氏 (株式会社クボタ 特別技術顧問)

三輪 泰史 氏 (株式会社日本総合研究所
創発戦略センター エクスパート)

横田 修一 氏 (有限会社横田農場 代表取締役)

梅本 雅 氏 (農研機構 理事)

モデレーター

名越 涼 氏

15:30 - 15:35

終わりに

久間 和生 氏 (農研機構 理事長)

